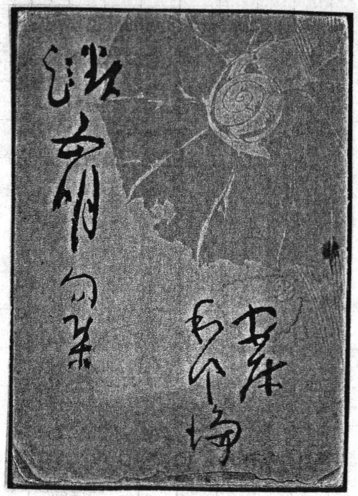
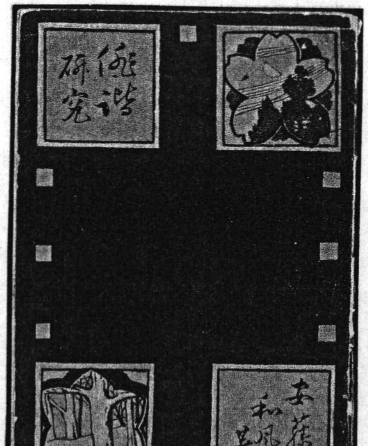
安藤和風（あんどう わふう）　俳人。慶應二年一月十二日出羽國生れ、昭和十一年十二月二十八日歿（一八六六－一九三六）。本名信順（のぶゆき）、幼名國之助。別號おはぶきこのや、しくれ庵、しぐれ庵、志ぐれ庵、一蛙、一蛙生、句沙彌、夢蝶、大蕗軒、布々木園、常盤園、彌生庵、時雨葊、松庵、松蔭舎、松隱、松雲居、楢山居士、楢山樵夫、疑冬園、白松子、自然子、自適庵、蝶々、蝶々子、鐘禮盦等。東京商業學校卒。明治二十一年秋田魁新聞社入社、主筆兼取締役を經て社長。二十四年俳誌『初しぐれ』、二十八年改題『露ずり』、翌年『俳詩』を創刊主宰（四十年廢刊）。

編著書『古今俳家逸話』（志ぐれ庵名、編、明治二十四年五月八日有朋堂）、『戀愛俳句集』（編、明治二十七年十一月十二日春陽堂）、『閨秀俳句選』（編、明治二十八年五月二十二日春陽堂）、『俳家逸話』（編、正・續。明治二十九年五月十五日春陽堂）、『俳諧研究』（明治四十一年五月十八日春陽堂）、『秋田みやげ文名嘖々』（合著・青柳有美編、明治四十二年八月八日秋田・大島商會）、『類題五明句集』（編、明治四十二年二月十五日内外出版協會）、『俳諧奇書珍書』（編、明治四十四年一月十五日春陽堂）、『和風句集 仇花』（昭和五年二月一日秋田・自刊）等。